

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年2月5日

【四半期会計期間】 第52期第3四半期(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

【会社名】 株式会社ショーエイコーポレーション

【英訳名】 SHOEI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 芝原 英司

【本店の所在の場所】 大阪市中央区備後町二丁目1番1号

【電話番号】 06-6233-2636(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務 有村 芳文

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区備後町二丁目1番1号

【電話番号】 06-6233-2636(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務 有村 芳文

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第3四半期 連結累計期間	第52期 第3四半期 連結累計期間	第51期
会計期間	自 2017年4月1日 至 2017年12月31日	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高 (千円)	11,985,270	13,247,435	16,166,826
経常利益 (千円)	451,628	343,162	540,889
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	289,810	219,563	359,113
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	389,575	155,236	395,609
純資産額 (千円)	2,418,555	2,518,336	2,424,590
総資産額 (千円)	8,355,309	8,822,465	8,416,941
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	44.74	33.65	55.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	28.9	28.5	28.8

回次	第51期 第3四半期 連結会計期間	第52期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2017年10月1日 至 2017年12月31日	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	16.91	7.29

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度と比較・分析を行っております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景に企業の業績や雇用環境の改善、設備投資の増加により緩やかな回復基調の動きが見られました。一方で個人消費につきましては、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、自然災害や株安等による消費マインドの悪化により消費者の節約志向は続いております。

海外では、中国や新興国経済の減速リスク、さらには米国の貿易通商政策による貿易摩擦の懸念や、金融資本市場の変動リスクなどにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原油価格や為替の変動、人件費の増加、運賃の値上げといった景気を下振れさせる懸念材料がある中、商品調達のさらなる向上と営業社員の意識改革の推進等を図り、今期の経営戦略である販促営業の推進と充填セットの強化に努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,247百万円（前年同期比10.5%増）となりました。しかしながら利益面につきましては、株式及び債券市場等の変動による年金資産運用の悪化や、タイ子会社において原料費の高騰や為替の変動、国内におきましても人件費や運賃の上昇といった外部要因による影響を受け、営業利益は362百万円（前年同期比22.8%減）、経常利益は343百万円（前年同期比24.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（パッケージ事業）

当セグメントにつきましては、プロモーション営業といった販促営業の推進や充填セット作業の強化等により売上高は前年を上回ったものの、無地や小物など単価の低い製品が増加したことや、タイ子会社においては原料費の高騰やドル安パーツ高が続いていることによる利益の減少、国内では運賃の値上げや発送効率の悪化等があったことからセグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は7,127百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は532百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

（メディアネットワーク事業）

当セグメントにつきましては、前期に引き続き販売促進品の提案を中心としたビジネスに注力したことで、従来からの配送費の低減や納期短縮等の提案を行う一気通貫サービスに対する依頼が増えたことで売上高は前年を上回ったものの、セグメント利益は前年同期をわずかに下回りました。

その結果、売上高は3,079百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益は107百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

（日用雑貨品事業）

当セグメントにつきましては、消耗品を中心としつつ、雑貨や化粧品等の新商品の投入を積極的に進め、海外協力メーカーとの強いパイプによる商品力の向上や商品企画開発力の強化に努めたこと、また当社の強みであるポリ製品等の消耗品を軸に販路をドラッグストア等の量販店に進めていったことから、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、売上高は3,394百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は172百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、子会社が物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は18百万円、セグメント利益は12百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ405百万円増加しました。これは主に商品及び製品等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は6,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2018年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2019年2月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,850,000	6,850,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	6,850,000	6,850,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年10月1日～ 2018年12月31日		6,850,000		229,400		146,800

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2018年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 308,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,541,400	65,414	
単元未満株式	普通株式 600		
発行済株式総数	6,850,000		
総株主の議決権		65,414	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式5株が含まれております。

【自己株式等】

2018年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ショーエイ コーポレーション	大阪市中央区備後町 二丁目1番1号	308,000		308,000	4.49
計		308,000		308,000	4.49

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2018年10月1日から2018年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、新日本有限責任監査法人は、名称変更により、2018年7月1日をもって、EY新日本有限責任監査法人となりました。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	646,201	455,512
受取手形及び売掛金	2 2,861,758	2 2,847,982
電子記録債権	2 248,307	2 407,911
商品及び製品	1,332,241	1,682,409
仕掛品	130,348	146,359
原材料及び貯蔵品	80,372	89,953
その他	348,682	355,910
貸倒引当金	6,116	6,225
流動資産合計	5,641,796	5,979,814
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,712	1,125,712
その他(純額)	785,663	867,548
有形固定資産合計	1,911,375	1,993,260
無形固定資産		
その他	57,555	169,999
無形固定資産合計	57,555	169,999
投資その他の資産		
その他	817,049	688,764
貸倒引当金	10,836	9,374
投資その他の資産合計	806,213	679,390
固定資産合計	2,775,145	2,842,650
資産合計	8,416,941	8,822,465
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 2,229,703	2 2,500,784
短期借入金	2,240,000	2,240,000
1年内返済予定の長期借入金	151,770	166,800
未払法人税等	97,164	21,626
未払消費税等	30,597	28,774
賞与引当金	104,232	70,986
その他	330,604	425,932
流動負債合計	5,184,072	5,454,905
固定負債		
長期借入金	333,050	297,750
退職給付に係る負債	78,904	71,591
長期未払金	145,052	145,052
その他	251,272	334,828
固定負債合計	808,279	849,222
負債合計	5,992,351	6,304,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	159,176	175,478
利益剰余金	1,849,961	1,984,972
自己株式	61,588	54,827
株主資本合計	2,176,949	2,335,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,192	117,662
繰延ヘッジ損益	13,446	
為替換算調整勘定	60,895	65,651
その他の包括利益累計額合計	247,641	183,313
純資産合計	2,424,590	2,518,336
負債純資産合計	8,416,941	8,822,465

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	11,985,270	13,247,435
売上原価	9,577,812	10,768,407
売上総利益	2,407,457	2,479,028
販売費及び一般管理費	1,937,297	2,116,164
営業利益	470,159	362,864
営業外収益		
受取利息	273	178
受取配当金	3,425	5,306
デリバティブ評価益	9,936	995
資材売却収入	3,983	4,278
その他	5,136	2,729
営業外収益合計	22,755	13,487
営業外費用		
支払利息	24,335	28,713
為替差損	11,391	
その他	5,558	4,475
営業外費用合計	41,285	33,188
経常利益	451,628	343,162
特別利益		
固定資産売却益	223	
特別利益合計	223	
特別損失		
固定資産除却損	2,400	385
特別損失合計	2,400	385
税金等調整前四半期純利益	449,451	342,776
法人税、住民税及び事業税	139,118	134,136
法人税等調整額	20,521	10,923
法人税等合計	159,640	123,213
四半期純利益	289,810	219,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	289,810	219,563

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	289,810	219,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,413	82,530
繰延ヘッジ損益	6,000	13,446
為替換算調整勘定	9,350	4,756
その他の包括利益合計	99,764	64,327
四半期包括利益	389,575	155,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,575	155,236

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
受取手形割引高	49,879千円	千円
受取手形裏書譲渡高	3,648千円	3,232千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
受取手形	14,174千円	8,461千円
電子記録債権	3,762千円	1,124千円
支払手形	105,255千円	92,965千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
減価償却費	86,165千円	94,767千円
のれん償却額	17,878千円	千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月27日 定時株主総会	普通株式	64,480	10.00	2017年3月31日	2017年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	84,552	13.0	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当金には記念配当3円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	パッケージ事業	メディアネットワーク事業	日用雑貨品事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,697,756	2,438,476	2,849,036	11,985,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	262,920		36,370	299,290
計	6,960,676	2,438,476	2,885,407	12,284,560
セグメント利益	625,610	107,647	166,373	899,631

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	899,631
セグメント間取引消去	3,162
全社費用(注)	432,635
四半期連結損益計算書の営業利益	470,159

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	パッケージ事業	メディアネットワーク事業	日用雑貨品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,818,427	3,079,722	3,331,285	13,229,435	18,000	13,247,435
セグメント間の内部売上高又は振替高	308,775		63,390	372,165		372,165
計	7,127,203	3,079,722	3,394,675	13,601,601	18,000	13,619,601
セグメント利益	532,741	107,364	172,131	812,237	12,619	824,856

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	812,237
「その他」の区分の利益	12,619
セグメント間取引消去	784
全社費用(注)	462,777
四半期連結損益計算書の営業利益	362,864

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
1株当たり四半期純利益	44円74銭	33円65銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	289,810	219,563
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	289,810	219,563
普通株式の期中平均株式数(株)	6,477,527	6,524,172

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2019年1月15日開催の取締役会において、2019年4月1日を効力発生日として当社の連結子会社である株式会社CS及び株式会社クルーを吸収合併することを決議し、同日付にて合併契約を締結いたしました。

(1) 合併の目的

当社及び株式会社CS並びに株式会社クルーがそれぞれ培ってきた経営資源の集中と効率化を図り、事業体制をより一層強化していくことを目的に、吸収合併することといたしました。

(2) 取引の概要

結合当事企業の名称	株式会社CS	株式会社クルー
結合当事企業の事業内容	100円ショップ、ドラッグストア等の量販店、専門店向けの日用雑貨品の企画、販売	ポリ袋等の包装資材の企画、販売
企業結合日	2019年4月1日(予定)	
企業結合の法的形式	当社を存続会社、株式会社CSを消滅会社とする吸収合併	当社を存続会社、株式会社クルーを消滅会社とする吸収合併
結合後企業の名称	株式会社ショーエイコーポレーション	

(3) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2013年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年2月4日

株式会社ショーエイコーポレーション
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	林	由	佳	印	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	井	上	正	彦	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショーエイコーポレーションの2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2018年10月1日から2018年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショーエイコーポレーション及び連結子会社の2018年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。